

第2期黒部市総合戦略(案)へのパブリックコメントに対する対応

1.基本目標Ⅰ 多様な雇用環境を創出し、活力ある地域をつくる

基本方針	ページ・箇所	ご意見の内容	ご意見に対する対応
1 基本方針Ⅰ－②	P13 3行～	(文言追加) 安定した農林水産業の経営に向け、 <u>所得向上や生産環境整備を進めながら新規就業者の確保</u> ・・・ 農林水産業の低迷には低所得も原因のひとつではないか。	いただきましたご意見の視点も重要であると考え、加筆修正いたします。 <下線部分を追加> 安定した農林水産業の経営に向け、 <u>所得向上や生産環境整備を進めながら新規就業者の確保</u> ・・・
2 基本方針Ⅰ－②	P13 5行～	(文言追加) 更に付加価値を高める6次産業化や <u>異業種連携</u> 、 単独での6次産業化は難しい経営体もある。	いただきましたご意見の視点も重要であると考え、加筆修正いたします。 <下線部分を追加> 更に付加価値を高める6次産業化や <u>異業種連携</u> 、
3 基本方針Ⅰ－② 具体的施策②	P14 黒部産品ブランド化推進支援事業	(文言追加) 市外や「道の駅」(仮称)くろべでの販売を目指した・・・ 市外、特に県外での販売促進がブランド化推進に欠かせないと思う。	いただきましたご意見を参考にし、加筆修正いたします。 <下線部分を追加> 「道の駅」(仮称)くろべを <u>はじめ市内外</u> での販売を目指した・・・
4 基本方針Ⅰ－② 具体的施策②	P14 地産地消促進事業	(文言追加修正) ブランド化の対象とならない <u>規格外の少量多品目品を、の生産振興を進め、加工等により地域内での消費拡大推進を検討する。</u>	本事業の趣旨は規格外の少量多品目品に限ったものではなく、ブランドとしてある一定数量生産される品目以外を対象としたものであることをご理解ください。

5	基本方針 I - ② 具体的施策②	P14 道の駅うなづき 再生事業	(文言追加修正) 宇奈月地ビール評価と施設整備とその効果を最大限に活かした経営戦略の	いただきましたご意見の視点も重要であると考えますが、ビール品質の高評価については、経営戦略のなかに盛り込むべきものと考えております。
6	基本方針 I - ② 具体的施策②	P14 ジビエ特産品開 発事業	(文言追加修正) 有害鳥獣を利活用しながら、 <u>中山間地域の振興を図り、新たな特産品のを創出し、中山間地域の振興を図る。</u> を目指す。	いただきましたご意見を参考にし、文章のならばを修正いたします。 <次のように修正> <u>有害鳥獣を利活用した新たな特産品を創出し、中山間地域の振興を図る。</u>
7	基本方針 I - ③	P15 雇用環境の充実	働く人が不足している現状から、自宅や遠方からでも仕事ができるテレワークが出来るように取り組むことは出来ないか。障がい者・育児・介護で離職している方の社会参加につながり、地域経済の活性化や税収増につながっていくと考える。	いただきましたご意見の視点は重要と考えており、P11の6行目、基本方針 I - ①「企業誘致や雇用を生み出す企業支援の推進」の本文にわかりやすく「テレワーク」という文言を追加いたしました。 また、基本方針 I - ③「雇用環境の充実」の具体的施策④「働きやすい就業スタイルを目指す社会の形成」においても「新たな就業スタイルに取り組む企業支援事業」を再度、記載しております。
8	基本方針 I - ③ 具体的施策①	P15 高齢者や障がい者の社会参加の促進	農福連携による障がい者や高齢者などが農業に携わり、雇用機会を創出するとともに、農業において働き手不足解消が図られる施策も必要ではないか。	農福連携により障がい者の雇用機会を広げていく試みについては、関係機関等が連携をはかりながら慎重に進めております。 また、就労意欲のある高齢者についても、関係機関と連携の上、農業経営体とのマッチングを推進いたします。

2. 基本目標Ⅱ 交流を促進し、人を呼び込む地域をつくる

	基本方針	ページ・箇所	ご意見の内容	ご意見に対する対応
9	基本方針Ⅱ－②	P21 KPI 3大都市圏からの年間転入者数	3大都市圏に絞ったのはなぜか。 人口ビジョンP19にある社会増減に関する方向性（年間60人程度のプラス要因）との関連性はあるのか。	第1期地方創生において取り組むべき大きな課題の一つとして、東京一極集中の是正があげられますが、第2期では、北陸新幹線敦賀延伸を念頭に、大阪圏、名古屋圏を含めた3大都市圏を中心に、県とも連携しながら、移住定住施策に取り組んでいきたいと考えています。 人口ビジョンの社会増減に関する方向性は、第1期の将来展望を第2期においても踏襲したものです。転入促進の観点は共通しています。
10	基本方針Ⅱ－② 具体的施策①	P22 空き家バンク	移住希望者はどこに住めばいいかわからないので相談できる人が必要。また、できるだけ多くの情報がほしい。 地域の方は、空き家バンクの制度を知らない。 行政は制度の周知及び空き家を持つリスクと手放すメリットの周知をすべき。	制度や空き家管理活用の周知については、広報やHP、固定資産税の納税通知等で実施していますが、まだまだ浸透していないのが実状です。 新年度において空き家の再調査、所有者へのアンケートなどを予定しており、対策を強化する予定です。

3. 基本目標Ⅲ 結婚・出産・子育ての希望が叶う地域をつくる

	基本方針	ページ・箇所	ご意見の内容	ご意見に対する対応
11	基本方針Ⅲ－① 具体的施策①	P24 男女の出会いの場の創出と結婚への意識向上	事業の提案として ・都市圏の独身女性を対象にした婚活ツアー（男性は市内男性で募集） ・多種多様な生き方を受け入れる街として同性愛者、LGBTの方を対象にした婚活（同時にパートナーシップ制度を導入する。）	「独身男女の出会いの場創出事業」実施にあたり、参考とさせていただきます。

4. 基本目標Ⅳ 生き生きとした暮らしを実現し、愛着ある地域をつくる

	基本方針	ページ・箇所	ご意見の内容	ご意見に対する対応
12	基本方針Ⅳ-① 具体的施策①	P31 バス停等環境整備事業	65歳以上の高齢者に関わる項目において、無料公共自転車の使用を前提としてそれと組み合わせたバス停の整備とあるが、高齢の方は自転車をしないと思われこの事業は内容があわないのではないかと。ICTの活用で、バス停を整備するのではなくバス停でバスを待たなくてもよい環境作りを行うべきと思うがいかがか。 (バスの位置がわかるアプリの導入などで、バス到着ちょうどにバス停に行けるようにするなど)	目標Ⅳの目標指標は65歳上の健康な人の割合としているところですが、目標Ⅳの基本方針や具体的施策が高齢者のみに特化した取組ではないことをご理解願います。そのことを踏まえた上で、バス停等環境整備事業については、バス停を中心とした周辺の回遊性を高め、多くの市民が公共交通を利用しやすくすることを主眼に実施する事業であるにご理解ください。 またバスの位置がわかるアプリについては、昨年11月にとやまロケーションシステムが導入されており、本計画書においては、公共交通網等運行支援事業のなかで市内公共交通網の最適化を目指す取組として位置づけています。
13	基本方針Ⅳ-① 具体的施策①	P31 バス停等環境整備事業	タクシーと同じように手をあげれば途中で停まるようにすればバス停は必要なく、利用者特に高齢者の方も喜んで利用されると思うがどうか。危険な箇所は除いて、車通りの少ないところで実験してみるのも一つではないか。	手をあげれば途中で停まる、いわゆる「自由乗降車」については、一部の路線と区間で対応しておりますが対象範囲の拡充について、今後、研究してまいります。
14	基本方針Ⅳ-① 具体的施策④	P33 Wi-Fi環境	新幹線駅だけでなく、公共施設、交通アクセススポット等県外・海外からの観光客にとって必須。	市内のWi-Fi環境については、一定の基準を設けて整備する必要があると考えており、優先順位をつけながら、計画的に設置を進めていきます。
15	基本方針Ⅳ-② 具体的施策①	P34 新川医療圏を支える市民病院の充実	今後ますます増える認知症患者に対する診療科の充実を図るとともに、入院病床を確保することを記入してほしい。 高齢者の5人に1人が認知症になっている中、魚津市の病院に頼っているだけでなく、基幹病院としての役割が求められている。	黒部市民病院は新川医療圏のなかで急性期医療を担う病院と位置付けられており、ご意見のような認知症患者の入院病床確保は非常に厳しいのが現状です。 ただ、認知症に対応すべき医療ニーズの増加は十分認識しており、認知症関連の診療科医師の確保など関連大学に積極的働きかけしている状況です。

<p>16 基本方針Ⅳ-② 具体的施策②</p>	<p>P35 健康で生きがいを持って暮らせる福祉の充実</p>	<p>一人暮らし高齢者や引きこもり者、8050対象者、地域で暮らす障がい者などが生活していくうえで、今後地域での「互助」の力での「地域共生社会の実現」が求められている。その基本となる日常生活での見守り体制「くろベネット」を地区社協や町内会、民生委員が連携して推進する必要がある。</p>	<p>市では、誰もが安心・幸せを感じる地域共生社会の実現を求めて制度・分野を超え、人と人が世代や分野を超えて繋がることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指しています。 社会福祉協議会が中心となって行っている「くろベネット」の取組を引き続き市としても支援していきたいと考えています。</p>
<p>17 基本方針Ⅳ-② 具体的施策⑤</p>	<p>P37 多文化共生の地域づくり</p>	<p>人口規模の維持は自治体としての最優先課題だが、全国的に少子高齢化の傾向が顕著になっている状況で、人口の取り合いをしても、あまり意味がないように思う。また、結婚や出産が個々人の自由意思に基づくものであって、近年はライフスタイルの多様化が著しいという点に鑑みても、もっとも実現可能性の高い方策は、外国籍住民の積極的な受け入れにあると思う。幸い、黒部市には世界を代表する外国籍企業が存在し、多種多様な外国人の往来実績が認められる。外国人にとって暮らしやすく、魅力ある街づくりが重要な論点だと思う。グローバル化が進展するにつれて、外国人も魅力ある都市への居住を希望するようになる。 多文化共生に関する総合戦略の記述においては、外国籍住民を客分として扱うのではなく、納税の義務を果たす隣人として接する視点が必要になるのではないかと。</p>	<p>人口規模を維持する方策として、外国籍住民の積極的な受入を行う意見をいただきました。国は平成31年4月から、外国人の在留資格に新しく「特定技能」を追加し、外国人労働者の受入を促進していく方針を明確にしております。県内においても外国人住民が18,262人（平成30年度）と調査のある平成2年度以降最高となっており、市内においても、今後ますます増加が推測されています。そこで、外国人労働者を受け入れている市内企業と情報共有・連携を図り、外国人が市内での生活に支障がないよう支援したり、気持ちよく働ける労働環境づくり、やさしい日本語を取得できる教室の開催など、多文化共生の魅力あるまちづくりを進めることとしています。</p>

18 基本方針Ⅳ-③	P38 KPI 職員出前講座開催数	職員出前講座というものがあることを初めて知った。今後SDG sの推進に取り組んでいくのであれば、黒部市民向けのSDG s推進講座が必要であると考えているが、新規でそのような講座を設定する考えはあるか。	職員出前講座は、新たな制度や施策などについて担当職員が市民のもとに出向いて説明するもので、その内容は、制度改正や社会ニーズ等に合わせ毎年見直しを行っております。 ご指摘のSDG s推進にかかる講座についても、市民の関心が高まりつつあることから、その内容について検討してまいります。
---------------	-------------------------	--	---

5.戦略全般に関して

	ご意見に対する対応
19 P6.7 SDG sの推進・取組について 従来の総合戦略から大幅な変更点としてSDG sに対する取組があるが、現状黒部市にはSDG sに対する担当課が存在しない。今後ますます取組が進んでいくSDG sに対して、既存課に追加では対応が遅れないか心配だが、新たに担当課を設置する考えはあるか。	2015年に国連がすべての国に共通する目標として採択した持続可能な開発目標（SDG s）は、「誰一人取り残さない」という理念のもと、17のゴールが示されております。このSDG sの理念は、本市の総合振興計画や第1期総合戦略の根底にある基本的な考え方であり、経済、福祉、教育、環境などすべての分野に関連があり、一つの課のみがSDG sを推進するというものではないと考えております。 第2期総合戦略では、このSDG s推進の動きを目にみえる形として、そのゴールに関連した基本方針にSDG sのアイコンを付けました。今後取り組むべき計画やパンフレットなどにSDGsのアイコンを示すなど、SDG sを原動力としてさらに取組を推進してまいります。

<p>20 P23 基本目標Ⅲについて 兵庫県明石市が取り組む子育て支援策に関する記事を目にした。市職員の給与を一律4%、下水道整備計画600億円を150億円に削減するなどとにかく徹底的に歳出を子育て支援へ振り分ける泉市長に感動すら覚えた。本市において、将来の黒部市を担う子供を増やす事が最優先の取組事項であり、市の政策も子育てにつながるかどうかというところを立案時点での判断基準とする気持ちで取り組んでいかなければ明るい黒部は見えない。基本目標ⅢではなくⅠにすべきと思いますがそのような考えはあるか。</p>	<p>本市の明るい未来のため、子どもを増やすことを第一優先施策とするため、基本目標Ⅲを一番目にするべきではとのご意見ですが、基本目標の記載順に、施策の優劣をつけた組み立てとはしていませんので、基本目標Ⅲ「結婚・出産・子育ての希望が叶う地域をつくる」も基本目標Ⅰと同様に重要な目標と認識しております。</p>
<p>21 黒部市の人口減少を食い止め、地域の活性化を図ることがいかに大切か実感している。黒部市総合戦略（案）では、様々な施策を計画されているが、多面的すぎるため、市民に浸透しない部分もあると思う。重点項目を絞り、内外に向けてアピールすることも大切かと思う。</p> <p>たとえば、重点項目として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新卒者、Uターン希望者が、富山県内、黒部市内に就職できる環境づくり、県と連携した企業誘致活動、市長によるトップセールスによる企業誘致活動。 2. 若者が結婚して家庭を持つことが、1番大切で、黒部市発展の源である。もっと、多くの出会いの場を提供することが必要。 3. 黒部市の魅力！伝える 都市圏でのPR活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 継続的なインターネット動画配信、Uチューバー等の活用 ウォー太郎のキャラクターを積極的に活用すべき。 (2) PRポスターの掲示。新幹線東京駅、富山県アンテナショップ等 	<p>総合戦略は4つの基本目標を立て、その下にぶらさがる基本方針、具体的施策、個別事業を体系的にまとめたものであり、総合的（多面的）に推し進める計画となっています。</p> <p>総合戦略の基本方針の中で重点的に取り組む施策を、KeyProjectと位置づけ、推進してまいります。</p>
<p>22 15～24歳にかけて転出が多いのが進学や就職によるものと推察されているように、市外・県外へ出たからこそ、地元に戻りたいと感じるような取組、郷土愛・地元愛を育むことで黒部に住み続けてもらう、進学等で転出してもまた戻ってきてもらうという視点を入れた取組を、従来の市外・県外からの移住者を増やす取組と合わせて進めることが大切だと考える。</p>	<p>一旦転出されても地元に戻ってきたいと感じる郷土愛を育む取組は重要と考えており、伝統芸能の保存・伝承やふるさと教育のほか、ヨソモノ目線となる地域おこし協力隊を活用しながら地域の魅力再発見等につながる事業も継続してまいります。</p>